

平成27年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	串間市文化会館
所在地	串間市大字西方6524-58
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 トータルサポート南九 代表者 理事長 岡田 弘一 住所 串間市西浜一丁目13番地2
モニタリングの実施方針・方法等	串間市指定管理者制度運用指針のチェックシートに基づいたものです。
担当課 (問い合わせ先)	串間市教育委員会 生涯学習課 文化係 0987-72-6511 (旧吉松家住宅内)

■モニタリングの総合コメント

当法人においては、串間市文化会館の指定管理業務は3年目であった。まず、維持管理費の全体的なコストダウンが図られた点が評価できる。次に、自主事業において、前年度比1本減はしたものの、来館者数、チケット収入ともに増加しており、市民参加型のカラオケ大会、C-WAVEネットワークを活用した演劇公演、落語独演会等大小様々な内容の事業開催に取り組んでいただき、市民文化の向上に繋がった。施設利用については、昨年度と比べ、利用者数・利用料金・利用件数において減少しているため、今後利用者増加に向け取り組んでいただきたい。

■今後の業務改善に向けた考え方

文化会館利用者の固定化・少数化が課題であるが、各種・各世代が入館しやすい環境作りや市民から要望のある自主事業の開催、様々な利活用方法の宣伝・周知を行っていくことが今後必要と思われる。また、今回あがった課題に対しては、しっかりと改善し、住民にとっても利用しやすい環境の提供や利用者増加に繋がるよう取り組んでいただきたい。

安全管理について、災害発生時などに周辺施設と連携し対応できるよう職員間で日頃から連絡を取り合える環境作りを行なっていただきたい。

■基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

文化会館の利用者は固定化傾向にあり、新規利用者が少ないので、その原因を分析・改善し、もっと幅広く様々な方に気軽に利用していただき、地域に根ざした施設として位置づけられるように取り組んでいただきたい。

■業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

自主事業として、音楽・演劇・落語・市民参加型の事業など、各種・各世代を意識した事業が展開された。

・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)

3名体制による勤務体制において、協定書に基づいた管理運営が行われているが、今後も公共施設の指定管理業務であることを常に意識した管理運営に努めていただきたい。

・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

毎月の教育委員会との定例会において、協定書に基づいた事務処理等が行われているか確認をすることで適正な事務が行われている。

・安全性(安全管理、緊急時等の対応)

安全管理などについては、災害・事故・事件等の安全マニュアルをしっかりと整備し、さらなる安全への意識を高め早急な対応ができる体制作りを努めていただきたい。

・社会性(環境等への配慮)

資源ゴミや植栽等の環境に対する職員の意識も高く、環境への配慮がなされている。引き続き、清潔感のある過ごしやすい快適な空間・環境作りに努めていただきたい。

■事業収支

経済性

新たな自主事業への取組み、経費節減にも努められているが、自主事業費支出と収入の比率について更に努

■団体の経営状態

経営の健全性

経理について、指定管理料内での執行がなされているが、今後も団体として責任ある指定管理業務を執行していただきたい。